8・9月

カトリック麹町教会

magis

マジス　＝　「より、もっと、さらに」

教会テーマ　イエスがたたく希望の扉をひらいていこう　新たにつながるために　2030年に向けて一歩ずつ

聖イグナチオと私

聖イグナチオの霊性に惹かれてイエズス会の道を歩む

イエズス会日本管区 管区長 デ・ルカ・レンゾ

私は中学校に入る前から司祭への憧れを感じていました。しかし、教区司祭、また修道者としての具体的なイメージが浮かばないまま数年が経ちました。様々な黙想会などに参加してもその具体的な道が見えていませんでした。あるとき、私が住んでいた地方にまったく活動していなかったイエズス会員の神父が私たちが通っていた学校（ミッションスクール）の黙想指導に来ました。その話を聞いたら「これだ！」と思ったことを今でも覚えています。聖イグナチオの霊性、特に識別についての話を聞いたときに自分の歩むべき道が見えたように感じました。それ以後、そのイエズス会の神父と手紙で霊的指導を受けながら霊操をしたりして入会する結果になりました。今に至って「識別する巡礼者」としての聖イグナチオに憧れています。

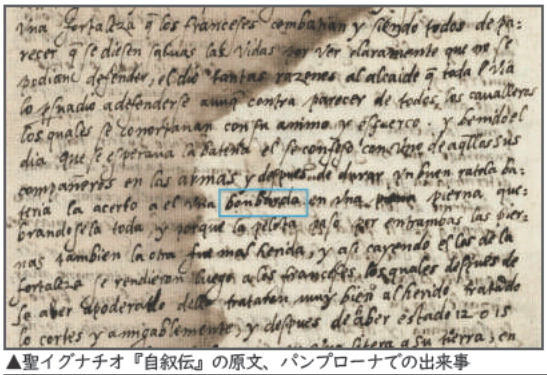
聖イグナチオの『自叙伝』と呼ばれている書物に、その識別しながら神への道を歩む本人の姿が見えてきます。聖イグナチオは『自叙伝』を口伝した時、すでに聖人と思われていましたが、彼は自分のことを「巡礼者」と呼んでいます。イエズス会の総長として定住していた時も、イグナチオは「巡礼者」、と名乗り、「向かっている途中の人」を意識して自分の生涯を伝えました。

「巡礼者」は迷いや行き止まりを体験します。巡礼者にとって大事な体験のうち、道を引き返す、つまり識別と回心の体験があります。識別して初めて、「この道では、いくら歩んでも目標に達しない」ことを理解する体験です。多くの場合、巡礼での出会いによって分かるようになります。

『自叙伝』ではイグナチオが命に関わる怪我を切っ掛けに、識別と回心するように導かれました（左下写真参照）。若い頃名誉を得る道を歩んだ彼はその道が絶たれ、より優れた、新しい目標が見えました。巡礼者イグナチオは困難を乗り越え、生涯の終わりまでその歩みの「途中」だった意識を残して下さいました。

その回心から500年が経つ今、彼の体験が私たちの回心への招きとなります。私たちがパンデミックによって世界が目指していた目標が達せなくなった体験をしています。私も、イエズス会に入ったときに、日本での宣教師になると思いもしませんでした。しかし、修道会での道を歩む途中、外国に派遣される恵みを頂いて、新しい道を歩むことになりました。何回か「これでいいか」と迷ったりしましたが、目上を通して神の御旨が示されることを信じて良かったと思います。

イグナチオの体験に照らし合わせれば、今こそ私たちに識別と回心ができる時を与えられていると思います。今までの道を引き返して、より人類に相応しい道を見いだすために恵まれた機会です。そうであるとすれば、イグナチオに習って困難こそ私たちに識別と回心の恵みに気づき神様の助けを願いながらそれに伴う姿勢を一緒に探したいものです。



▲聖イグナチオ『自叙伝』の原文、パンプローナでの出来事

【8月の共同祈願】

コロナ禍の困難な中にあっても、

前向きに工夫を重ねて活動している若者たちが、

それぞれの賜物を生かし、

互いに受け入れ合って、

成長できますように。

担当：第一朗読グループ

【9月の共同祈願】

ご高齢の方々のために祈ります。

離れていても、心を通わせ、

祈り合い、助け合い、

神の恵みに満ちた

穏やかな日々を送ることができますように。

担当：第二朗読グループ

堅信式

聖霊と共同体の助けにより福音を伝えるキリスト者となる

6月26日(日)15時半より主聖堂にて、菊地功大司教の司式により堅信式が行われました。91名の受堅者とその代父母のみの参列と制限はありましたが、オンライン配信され、多くの信徒と堅信の喜びを分かち合いました。

昨年はコロナ禍により3回に分けて行われましたが、今年度は受堅者が一堂に参列し聖霊の賜物をいただくことができました。洗礼の恵みを思い起こす灌水から始まり、洗礼の約束の更新、祈りと按手、塗油、聖霊を受けたしるしとして、ろうそくの点火が行われました。

菊地大司教は「入信の秘跡（洗礼、聖体、堅信）が完了し、キリスト者として完成します。それは果たすべき務め〝福音を宣べ伝えていく〟使命が与えられていることを意味しています。手助けしてくれるものは2つ、〝聖霊〟と〝共同体〟です。〝聖霊〟はやる気を後押ししてくれ、〝共同体〟は助け合い、互いに耳を傾けながら旅路を歩む仲間です。教会での姿を見せることが宣教の始まりです。不安を取り去り、愛に満ちあふれたところには多くの人が集まります。未来の希望を共同体に見いだせるように祈りましょう」と話されました。

堅信を受けて

自分にできることを問う

堅信を希望するたくさんの方々が、無事に恵みを受けさせていただけたことに感謝を申し上げます。今年はコロナに加え、戦争や社会混乱も起こる苦しみの多い年となりました。後をたたない傷ついた人々が心と体を休め、生活を回復できるようにと祈らずにはおられません。堅信準備期間では自分にできることを問うことと勇気をいただきました。神父様、支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。　N.O.

自分で答えを出し、深めたい

堅信を受けるに当たって8回の授業と最終テストを受けました。無事に合格し、ほっとしたのも束の間、式までの時間はずっとそわそわしていました。大きな式なので代母と聖堂に入ってからも緊張していましたが、いざ始まると「これで一人前になれる」とうれしい気持ちが込み上げてきました。神父様に塗油していただき、着席してから、額の油を指でなぞったら甘い匂いがして「何の油だろう」と考えたりもしました。式後、たくさんの方が「おめでとう」と言ってくれてうれしかったです!!　式を終え、疑問がいろいろ生まれました。これから自分で一つずつ答えを出し、教会とつながり、信仰を強く深めていきたいです。　A.M.（中学2年生）

神様の存在を意識して

僕は中学生会に参加していますが、ミサなどに自発的に行くことはほとんどありませんでした。しかし、今回の堅信式を通して、自分は神様の子どもであり、神様は僕たちにとって大事な存在だということをより強く感じました。また式前に、ゆるしの秘跡を久しぶりに受けて自分の罪を誰かに告白することはこんなにもスッキリするんだと実感しました。これからは神様の存在をもっと意識して、日々祈りたいと思います。　A.A.（中学2年生）

教会報 MAGIS 8月・9月合併号

† 堅信の喜び　P2
† つながりを取り戻すために 信徒交流関連グループの取り組み　P3
† 講座再開の秋～入門講座編～　P4-5
† 特別寄稿「聖イグナチオと私」　P6

信徒交流関連グループの取り組み

つながりを取り戻すために

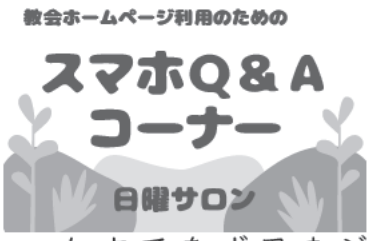
教会に集うことが難しい状態が続いていますが、私たちはカトリック教会の家族として共に歩むように招かれています。ウィズコロナのただなかで活動している信徒交流関連グループの最近の動きを紹介します。

「日曜サロン」内に新企画

信徒交流関連グループの「日曜サロン」「シャロンのバラの会」「受け皿」3つのグループが協働して、個別対応のブースを立ち上げます。ヨセフホールにて。開催日は毎号最終ページ「典礼と行事」カレンダーをご覧ください。

☆スマホQ&Aコーナー　日曜サロン

インターネットに不慣れで、なかなか教会ホームページをうまく利用できず不便を感じている方々のために「スマホQ&Aコーナー」をサロンの中に設置しました。



長引くコロナ禍において教会ホームページは、各種情報発信の場として大きな役割を果たしています。ミサや黙想会、教会イベント参加の申込み、教会報『マジス』の閲覧、教会主催の講座を視聴するなど。教会とつながるための一つの手立てとして、当コーナーを気軽にご利用ください。

☆教会生活コンシェルジュ　シャロンのバラの会

教会生活のことでちょっと聞いてみたいこと、話したいことありませんか。たとえば洗礼名の付け方、代父母の探し方、家族の中のひとりクリスチャンのお悩みなど…私たち「シャロンのバラの会」は、入門講座以外でも求道者や新受洗者と信徒との交流が持てるように、気軽に集える場を提供します。また代父母に対する勉強会やワークショップの企画も予定しています。

☆ミニ・オリエンテーションコーナー　受け皿

年に2回開催している教会主催のオリエンテーションに参加できなかった方、教会の活動グループについて新しく情報を得たい方など、どのような方も大歓迎です。主日ミサの後、「日曜サロン」に立ち寄ってさまざまな情報を収集し、聖イグナチオ教会での生活をさらに充実したものにしてくださるようにと願っています。
※月1回、不定期で開催。

はじめの一歩グループ

「新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座」を企画運営しています。今年度は年6回。ゆるしの秘跡や祈り、殉教者などをテーマに講座を開き、共に信仰を深め、分かち合いをしながら、新受洗者同志のつながりを大事にしていきたいと思います。ヘルパー一同多くの方の講座への参加をお待ちしています。

メリエンダ

再開を望まれる声を受け、座席の間隔を空けるなど感染対策に配慮し、6月から試験的に飲み物だけ提供しました。外国人ミサ後まで時間を延ばすか否かなど、問題点も残りました。食はまだ許されていない状況下、以前のように開催できる日が来ることを願っています。

ふれあい広場

当教会所属のすべての信徒の方に、リサイクル本を提供しています。新規メンバーも募集中。特にまだグループに所属されていない方、大歓迎です。皆さまに提供した本をベースに考えていることを分かち合うなど、日々の生活に寄り添う場を一緒に作りましょう。

ウェルカムテーブル

毎週日曜日の9時30分から11時過ぎまで、正門付近にテーブルを設置して案内用のリーフレットを提供しています。主な活動内容は、教会に初めていらした方を温かく迎えることです。またテレジアホール前では、ミサの申込みに困っている方のサポートをしています。

教会案内ツアー

新受洗者の皆さまと入門講座に携わられている方を対象に、教会の中をぐるっと一周ご案内する「教会案内ツアー」。今は、毎月第4土曜日の16時から再開しています。今後より多くの方にご参加いただき、聖イグナチオ教会に親しんでいただけたらと思っています。

学びの秋、到来！
講座も開講しています
～入門講座編～

夏休みを終え、９月から講座が再開します。対面での講座が再開したところやZoomとの併用などの工夫が行われているところもあります。
学び直しに、また学びたい方をお誘いするなどして、参加してみませんか。

※講座のスケジュールは急に変更になることがありますので、初めて参加される際は講座担当者か教会事務室にご確認ください。

最新の情報は教会ホームページで

対象　未受洗者のみ…○　新受洗者も可…●　どなたでも…★

曜日		時間	場所	担当者	紹介	対象
日	毎週	11:15 ～ 12:30	岐部 309	木村董太朗・美智子信徒	当日の主日ミサの「聖書と典礼」を使用し、イエズスの生涯について、また『光と希望』（ルイス・カンガス神父著）を使用して信徒として大切なことを分かち合ってゆきます。洗礼希望者には準備をいたします。「ミサ」「ご聖体」についても随時学んでゆきます。	★
	月 2 ～ 3 回	16:00 ～ 17:30	203B	Sr. 杉原法子	聖書を通してイエス･キリストの人となり､そのメッセージ（福音）を学び、祈りの体験を交えて人間の生き方を考える信仰への入門講座です。 カトリック教会全般についての案内､特に典礼と秘跡について学び、洗礼を希望する人にはその準備をします。講座は対面と Zoom で行いますが、洗礼を希望する方は対面でご参加ください。下記メールでお申込みください。担当：須賀　matenasuga@icloud.com	●
月	毎週	10:30 ～ 12:00	302	古川清志信徒	お母さん（女性）のためのキリスト教入門講座。信者の方、未信者の方どなたでも。キリスト教入門・洗礼準備・子育て等。お子さん同伴可（別室で遊ぶことも可）。	★
		19:00 ～ 20:30	アルペホール	グエン・タン・ニャー神父	聖書を通して、イエスに出会い、イエスを知り、イエスに従い、信仰を深める講座です。キリスト教を基礎から学びたい方、洗礼を希望する方、洗礼から１年未満の方を対象にしています。予約は不要です。直接お越しください。 連絡先：辺見　akashiba.koharu@gmail.com	●
火	毎週	10:40 ～ 11:50	アルペホール	ハビエル・ガラルダ神父	イエスを知る､好きになる､従う､知らせるというローマ字の「４S」は目的です。『毎日のミサ』から聖書のいくつかの箇所を考えます。それに交えカトリックの教えのテーマを扱います。 新規に受講をご希望の求道者の方に、限定して募集いたしますので、ご希望の方は事前に必ずヘルパー加藤 maria-monica-rosa-kiyo-1153278@docomo.ne.jp までご連絡ください。	○
		14:00 ～ 15:30	ヨセフホール	サトルニノ・オチョア神父	信仰の門である洗礼式においては、信仰宣言からキリスト教の信仰の内容と根拠が理解できるように学びます。どなたでもご参加いただけます。	★
		18:45 ～ 20:00	203A	古川清志信徒	１年間で洗礼に必要な勉強と、キリスト教の基本的な知識や霊性について話します。洗礼を受けていらっしゃらない方、もう一度入門講座を学びたい信者の方が対象です。	★
水	毎週	10:30 ～ 11:45	301	ヘネロソ・フローレス神父	忙しい毎日を送っている方に、この講座は心のオアシスとなるように、聖書と親しみながら、キリスト教の中心であるイエス・キリストという方をより深く知り、その教えもご一緒に学んでいくつもりです。	★

曜日		時間	場所	担当者	紹介	対象
水	第 1・3	10:30 ～ 11:45	401	Sr. 野本佳子	聖書とカトリック教会の教えを通して、イエス・キリストを知り、イエスの価値観とその生き方を学ぶ講座です。初めてキリスト教に触れる方、洗礼を希望する方、すでに受洗した方で、神のみ言葉を日常生活の中で生きる喜びを味わいたい方を対象にしています。参加ご希望の方は newlifeignatio@gmail.com まで。	★
	毎週	18:45 ～ 20:00	203B	信徒担当	教会経験豊かな男性信徒担当。キリスト教入門と洗礼準備。どなたでもお気軽においでください。	★
木	第 2・4	10:30 ～ 12:00	302 (Zoom)	信徒担当	聖書を通してイエス・キリストに出会い、イエスとともに生きる喜びを分かち合います。聖書や秘跡の学び、日常生活の分かち合いを大切にしてまいります。 信者の方も、洗礼希望の方も。第 2 週は対面で、第 4 週は Zoom で行います。初めて参加される方は第 2 週からご参加ください。	★
	毎週	18:45 ～ 20:15	301	岩島忠彦神父	毎週の講話を通して、キリスト教の信仰を順序正しく紹介していきます。聖書を中心とし、人生・神・キリスト・信仰・祈り・教会といったテーマを、私たちの生き方とつき合わせながら考えていきます。講話が中心ですが、秋には泊りがけの黙想会を計画しています。入門講座ですので、カトリック信者の方はご遠慮下さい。申込みは先着順です（30 名まで）。参加をご希望の方は、iwashima.kouza@gmail.com までお問い合わせください。	○
金	毎週	15:00 中学生 17:30 高校生	404	Sr. 景山あき子	洗礼を望んでいる中学生、高校生が対象です。洗礼準備として信仰宣言で言われている「父」と「子」と「聖霊」、「教会」「聖書」「教会生活（秘跡を生きる）」を、私達の生活の中でみます。教材は聖書、ビデオ、ミサや洗礼式を見に行き祈ります。	中高生のみ
		18:45 ～ 20:00	301	ハビエル・ガラルダ神父	イエスを知る、好きになる、従う、知らせるというローマ字の「4 S」は目的です。『毎日のミサ』から聖書のいくつかの箇所を考えます。それに交えカトリックの教えのテーマを扱います。対面と Zoom を並行して行います。Zoom に参加なさりたい方は、fr.garralda.bible.study@gmail.com　までご連絡下さい。	★
	第 2・4	18:00 ～ 19:00	203B	グエン・ミン・トアン神学生／ Sr. 大原	キリストを知りたい方どなたでも。途中からでも参加可。テキストとして『キリスト教に問う』（百瀬文晃神父著・女子パウロ会出版）を使いますので、参加される方はこのテキストをご用意ください。	★
土	毎週	10:30 ～ 12:00	302	信徒担当	教会経験豊かな男性信徒担当。キリスト教入門と洗礼準備。どなたでもお気軽においでください。	★
	毎週	16:30 ～ 17:45	301	ハビエル・ガラルダ神父	イエスを知る、好きになる、従う、知らせるというローマ字の「4 S」が目的です。『毎日のミサ』から聖書のいくつかの箇所を考えます。それに交えカトリックの教えのテーマを扱います。Zoom と併用しています。定員がありますので、参加ご希望の方はお問合せ下さい。ヘルパー田渕 s-tabuchi@mte.biglobe.ne.jp	★
	毎週	16:30 ～ 17:30	Zoom	信徒による宣教パウロ会	「信徒による宣教パウロ会」は、粟本神父様の元でカテキズムを学んだ、8 人の男女が交代で担当しています。教会、聖書、教えをよりよく知ることで、日常生活の中に自然と、愛とめぐみを味わいながら、仲間と共に信仰生活を深めていこうと思い活動しています。主日の聖書朗読を共に読んで、み言葉を味わい、その日、どんな言葉に心がひかれたのか、分かち合います（発言は義務ではありません）。Zoom に接続できる環境なら、どこからでも参加できます。年度途中からの参加も大歓迎です。 st.paolo.kai@gmail.com へ、メールしてください。折り返し、Zoom のミーティング ID とパスコードをお知らせします。まずは試しに 1 回だけでもどうぞ。 8 月はお休みで、9 月 3 日に再開します。	★
	第 1・3・4	17:00 ～ 18:00	203	Sr. 品川ヨシ子	洗礼を希望する人を対象にしていますが、すでに洗礼を受けている方で、まだ聞きたい人も参加可能です。聖書をテキストに教会生活に沿って、キリスト教が理解できるようにすすめていきます。人数制限がありますのでお問合せ下さい。ヘルパー吉野 class44547gawa@gmail.com/[redacted]	★

IgnatiuS 500 イグナチオ年

〈特別寄稿〉聖イグナチオと私

聖イグナチオと私のちょっと複雑な関係

司祭・上智大学神学部准教授　酒井陽介

聖イグナチオとの関係は、ちょっと複雑です。SNSに「複雑な関係」という項目があって、それは一体なんのことかと勘繰りたくなりますが、別にそこまでドラマチックではありません。要は、初めは気になっていたわけでも、好きでもなかったということでしょうか。いや、単によく知らなかったと言ったほうがいいのかもしれません。

聖イグナチオ・デ・ロヨラとその霊性を意識したのは、英神父の「霊性」の授業でした。そこで、聖イグナチオの編み出した祈り方に接し、衝撃を受けました。それからしばらくして、英神父に霊的指導を願ったのが、そもそも「イグナチオの霊性」との真剣なお付き合いの始まりでした。それは迷いを感じ、祈りの道標を探していた私にとって、胸のつかえが下りるような体験であり、徐々にいろいろなことが腑に落ちていきました。こうして、聖イグナチオの教える祈り方（霊性）は、私にとってかけがえのないものになっていきました。これはその後、召命の選び直しにもつながっていきました。辛抱強く私を指導してくれた英神父には感謝というほかありません。人生とはわからないものです。

さて、こんな私ですが、自分なりに「イグナチオの霊性」を分かち合っていきたいと思っています。ただ、その対象を少し絞りつつあります。それは「ヤングアダルト」と言われる少し広めの範囲を持った「青年層」です。私もそうだったのですが、やはり「イグナチオの霊性」は、その年齢層にいる青年たちにドンピシャなのです。（いやいや、壮年の方がたに響かないとは言っておりませんので、悪しからず。きっといぶし銀の霊性でさらなる深みを出すのに、「イグナチオの霊性」はきっと役立ちます。）『自叙伝』にあるように、若きイグナチオもちょうど二十代後半から三十代にかけて霊的な遍歴を経験したとあり、おもしろい具合にこの霊性は、そこにうまくはまるのです。すなわち「生路の選定」と言われる識別のプロセスは、ちょうど、この年齢層にいる青年に大きな助けとなるように思います。五十代でも、六十代でも人生の選び直しをします！と言う声が聞こえてきます。はい、その通りです。人生は識別の連続です！頑張りましょう。

「イグナチオの霊性」理解には、ある程度の人生の体験知が必要です。なぜなら、始めた本人が、豊かな体験知をもとに『霊操』を書き、分かち合っていったではありませんか。「イグナチオの霊性」は、知的な理解にとどまらず、こころの動きへの気づき、そして何よりも霊の導きにどれくらい委ねていけるかにかかっています。それは、自分の外側のこと以上に、自分の内側、すなわちこころの中を気にかけることから始まります。そうなると、ある程度の人生の歩みとそれを振り返ることのできる体験知が肝要です。だから、自分の夢まっしぐらという若さ溢れるエネルギー以上に、「ヤングアダルト」くらいの年齢になって、「あれ、ちょっと思ったのと違うな」という立ち止まる時間と葛藤と迷いが必要です。そこが、この霊性の真骨頂だと思います。

ということで、この記事を目にした青年諸君、忙しい毎日のルーチンに追われるだけでなく、今少し立ち止まって、自分のいる位置を確かめてみませんか。自分はどうやって歩いてきて、これからどうやって人生を歩んでいきたいのか。何が心を沸き立たせ、何に迷っているのか。ひとりで頑張っているというがむしゃらな気持ちから少し自由になって、そこに一緒に歩いてくれるイエス・キリストの存在を確かめることができるなら、それが仕事でも、結婚でも、独身でも、はたまた司祭修道者の道でも、一歩を踏み出す勇気が見出せます。「イグナチオの霊性」の持ち味である霊的同伴（指導）は、この最良の方法です。お節介にも経験者の体験知を分かち合せていただきました。

Family of St.Ignatius

～スペイン語圏から～

愛の絆

私は昨年 11年ぶりに家族を伴って再来日しました。聖イグナチオ教会セントロ・ロヨラとの関わりは 2004 年の大学院生時代に遡ります。聖イグナチオ教会の神父様やシスターはこの国で福音を伝えるために努力されている姿を、昔も今も目の当たりにしています。私は本年よりスペイン語ミサで御聖体奉仕をしています。日本で生まれた息子はこの教会で洗礼を受け、6 月には堅信を受けました。息子もスペイン語ミサの侍者を務めています。家族で奉仕できることは喜びです。出身国が多様であるスペイン語コミュニティーの共通点は、言語だけではなく神様と聖母マリアへの強い愛です。コロナ禍であっても私たちを温かく迎え、信仰の道を指導してくださる教会の神父様やシスターにあらためて感謝申し上げます。

[redacted]（ペルー）

●７月のお知らせ（７月１日要旨）●

東京教区の新型コロナウイルス感染症対策がステージ２に移行しました。聖イグナチオ教会では下記のように感染対策を継続、変更します。

1．主日ミサ(土曜18時、日曜各ミサ)は予約制を継続しつつ、入堂人数を250人までに増やします。
2．９月８日(木)から平日ミサ(月曜から土曜)の７時、12時、18時を再開します。予約の必要はありません。なお土曜18時は主日ミサです。
3．10月から「高齢者、基礎疾患のある方のためのミサ」はありません。
4．東京教区の対応指針の変更、感染状況によっては上記対策が変更される場合があります。

●財務報告●

・５月22日(日)「世界広報の日の献金」451,959 円は雑誌、インターネット、テレビなどの広報媒体を用いた福音宣教に使われます。
・６月26日(日)「聖ペトロ使途座への献金」499,551 円は教皇様の活動のために捧げます。

●教会の夏休み●

教会案内所	８月11日(木)～17日(水) 夏休み
信徒会館	８月１日(月)～31日(水) 19時閉館
告解	８月15日(月)～９月２日(金) 休み

クリプタは平常通り(９時～16時)お参りできます。

●７月の宣教司牧評議会からのお知らせ●

(7 月 7 日開催)

1．承認事項
・「教会祭」(10 月 9 日) および「クリスマスミサ」(12 月 24 日・25 日) の実行委員会を立ち上げることが承認されました。教会祭実行委員会には各外国語コミュニティーからも参加し協働します。
2．報告事項
・英語圏の日曜学校による「キッズサマーキャンプ」が初めての試みとして企画され教会敷地内で実施されます。8月 20日(土)11:00～19:30、6歳～12歳が対象。テーマは『すべてのものの中に神様をみつける』
・今年度の「敬老ミサ」(９月 18 日)および「長寿の集い」(10 月 10 日) は昨年同様に新型コロナ感染症防止のために中止といたします。

●傾聴ルーム再開のお知らせ●

「傾聴ルーム」は９月からの活動再開を予定しています。

日　時：９月14日(水)、９月28日(水)
　　13:00 ～ 15:00(12:00 ミサ後)
場　所：ヨセフホール

＊10月以降の開催については、教会報『マジス』の「典礼と行事」、教会ホームページ、ポスターなどでご確認ください。新型コロナウイルス感染拡大防止により、再開に変更もありますことご了承ください。

● 8 月のお知らせ（7 月 30 日要旨）●

新型コロナウイルス感染症第 7 波による感染者が急激に拡大しています。当教会司祭団の中からも感染者が出ました。このような社会情勢に鑑みて、以下のように聖イグナチオ教会の感染症対策を変更します。

1．8 月 1 日(月)～31日(水)のミサについて減少または中止します。
　1）主日（日曜）ミサは下記のみとし、今まで通りの予約制とします。
　7 :00、10:00、12:00(英語)、13:30(スペイン語)、15:00(ベトナム語)、17:00(英語)
　2）平日(月曜から土曜)の 7 :00、12:00、18:00 のグループ申込ミサ、聖体賛美式は中止します。
　9 月 8 日(木)からの平日ミサ再開は、今後の状況で判断します。

2．8 月15日(月)聖母の被昇天のミサ(主日ミサと同じ予約制)は、7 :00、10:00、12:00(英語)、19:30(ベトナム語）のみとします。

3．高齢者、基礎疾患のある方のためのミサ
　8 月 6 日(土)、9 月 3 日(土)12 時から予定していたミサは中止します。

4．告解
　8 月 1 日(月）～ 31日(水)まで平日・日曜ともに休みます。

司祭団、ミサ関係奉仕者に感染者が増えて行くとミサそのものが出来なくなります。政府、東京都から行動制限は出されていませんが、感染対策の基本を忠実に実行し、暑さ対策もしながらこの夏を乗り越えて行きましょう。

8 月の典礼と行事

5　（金）初金曜日	
6　（土）主の変容の祝日	**日本カトリック平和旬間(6 日～15日)**
7　（日）年間第19主日	日曜サロン、ミニオリエンテーション 11:00(中止)　**ミャンマーの人々のため・特別献金**
14　（日）年間第20主日	日曜サロン 11:00(中止)
15　（月）聖母被昇天の祭日	**平和祈願ミサ　7:00　10:00　12:00(英語)　18:00**
21　（日）年間第21主日	
28　（日）年間第22主日	

9 月の典礼と行事

1　（木）	すべてのいのちを守るための月間　10月 4 日まで
2　（金）初金曜日	
3　（土）	大地震避難訓練　18:00ミサ後
4　（日）年間第23主日	大地震避難訓練　10:00ミサ後　**被造物を大切にする世界祈願日**
11　（日）年間第24主日	子どもとともにささげるミサ　10:00 大地震避難訓練　12:00英語ミサ後
14　（水）十字架称賛の祝日	傾聴ルーム　13:00～15:00　ヨセフホール
18　（日）年間第25主日	**敬老のミサ　10:00(中止)** 日曜サロン、ミニオリエンテーション 11:00～12:30
25　（日）年間第26主日	**教会活動連絡会議　13:00　ヨセフホール**　**世界難民移住移動者の日・献金** 日曜サロン　11:00～12:30
28　（水）	傾聴ルーム　13:00～15:00　ヨセフホール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

主任司祭：サトルニノ・オチョア
助任司祭：ボニー・ジェームス
　グエン・タン・ニャー
　柴田　潔
協力司祭：ヘネロソ・フローレス
　ハビエル・ガラルダ
　マヌエル・シルゴ
シスター：イベッテ・サンチェス
　（セントロ・ロヨラ）
　フロール・フロレーセ
　（ジョン・デ・ブリット　イングリッシュセンター）

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサ時間　Mass
【平日 Weekday】
7 :00（聖体顕示）主聖堂　Main Chapel
12:00/18:00（ミサ又は聖体顕示、聖堂は要確認）
【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂　Main Chapel
土曜 18:00 日曜 7:00/8:30/10:00/18:00
12:00（English）/13:30（Español）/
15:00（Việt Nam）/16:30（English）
【月の第 1 日曜日 1st Sunday】
Our Lady's　Chapel
12:30（Português）/16:00（Polski）
【月の第 2 第 4 日曜日　2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel　16:30（Indonesian）

カトリック麹町教会
（聖イグナチオ教会）
〒102 － 0083
千代田区麹町 6 － 5 － 1
TEL 03 － 3263 － 4584
FAX 03 － 3263 － 4585
http://www.ignatius.gr.jp
ホームページ　フェイスブック

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。